

コロナ禍で工夫を凝らしながら

ちびっこ認知症サポーター誕生！！

ささえりあ三和では、適度な距離、換気、マスクなどの徹底を図りながら令和3年3月に初めて高橋小学校5・6年生へ向けての**認知症サポーター養成講座**を開催いたしました。

認知症サポーターとは、認知症について**正しく理解し、偏見を持たず**、認知症の人とその家族に対して**温かい目で見守る**ことが出来る「**応援者**」のことです。サポーターになるためには、養成講座の受講が必要となります。養成講座を受講後は、友人や家族にその知識を伝えたり、近所や公共の場などで出来る範囲の手助けをする等、活動内容はさまざまです。



前半は認知症の講義です。
クイズやゲームも取り入れながら認知症について学んでいただきました。
児童の皆さんの手首には「オレンジリング」(サポーターの証)が付けられています



受講後は認知症サポーターの証となるカードをお渡ししました



後半はささえりあ三和スタッフによる「認知症の劇」です。
認知症の方への声のかけ方を児童の皆さん自身が考え発表してくれました。



講義の最後に、高橋小学校の生徒さんから「認知症が進んだらどのような状態になるのか」との質問を受けました。認知症になると物忘れがどんどんと進み、意欲が低下し、食事を食べるということを忘れ、筋力の低下により歩くことも出来なくなってしまうと説明をしました。そのために、認知症の初期症状を発見した場合には、専門医への早期受診、早期治療が大切だとお話をしました。今回の講座を受けられ、認知症への正しい理解が出来るといいなと思いました。

認知症サポーター養成講座を開催しました

熊本県の認知症サポーター養成数は、令和3年12月末時点で**39万人を突破し**人口に占めるサポーターの割合が平成21年度から**12年連続で「日本一」**となっています。

※熊本県ホームページより抜粋

毎年恒例

初めての
リモート

熊本西高校 認知症サポーター養成講座

今回は、コロナウィルス感染予防のためのまん延防止等重点措置期間ということもあり、**初めてオンライン**での講座を開催しました。西高校の先生方のご協力もあり、大きなトラブルもなく、1年生6クラス、2年生1クラスの講座を無事に終えることが出来ました。

〜〜最後に実施したアンケートより〜〜

「認知症の方々へ対する接し方を学んだので、実際にボランティア活動をしてみたい」

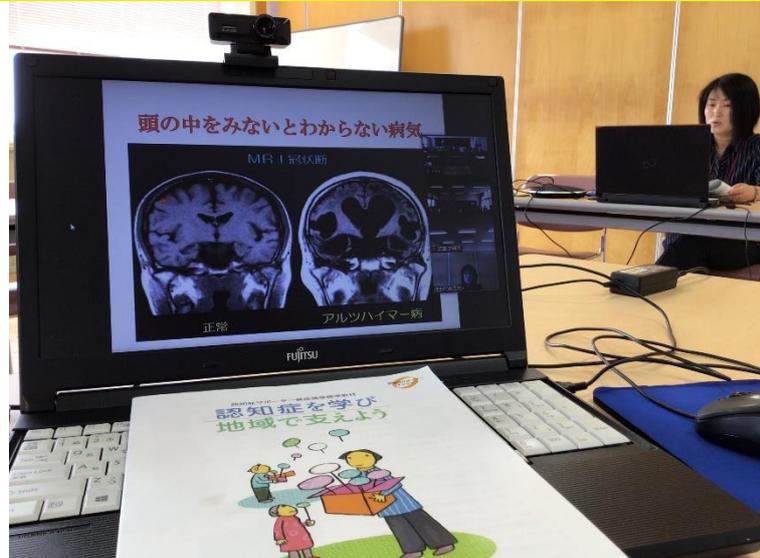
「近所や地域の高齢者と関わりを持ち、困っている方がいたら手助けをしたい」

「認知症のことを深く学べて良かった」

「認知症予防のために、今からしっかり頭を使って行動していきたい」

「認知症は年齢に関係なく起こる病気だと初めて知った」等の意見が出されました。

高校生という将来を決定する大切な時期に、認知症サポーター養成講座で認知症の問題に関わっていただけただことに**感謝**し、今後、生徒さんが医療や福祉の仕事に関心を持っていただくきっかけになれば幸いです。



※ささえりあ三和では認知症になっても地域で住み続けることができる街づくりを推進しています。認知症について知りたい、認知症で困っている等がございましたら、ささえりあ三和までご連絡ください。